

Discover

～発見～

仙台市立八乙女中学校
第1学年 学年だより
第4号
'24.5.13.発行

絆と学びを深めた校外学習

学年委員や班長が大活躍

5月7日(火)の山形での校外学習で生徒たちは、とても充実した一日を過ごすことができました。実施に当たり、保護者の皆様の御理解と御協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

今回の校外学習では、事前準備の段階から学年委員や班長の活躍が光りました。学年集会の運営や事前学習での話し合い活動をはじめ、当日の全体行動や山寺での班行動の場面などで、学年・学級のリーダーとしてみんなをまとめることができました。規律ある集団行動ができたのは、リーダーの力によるところが大きかったといえるでしょう。



1学年の良いところ、また発見!

校外学習では、1学年の生徒たちを見ていて、感心させられる場面が多くありました。

一つは山寺でのウォークラリーや陶芸体験に取り組む姿勢です。ウォークラリーでは、頭を突き合わせながら課題に向き合う姿が、七右エ門窯では一心不乱に陶芸に没頭する様子が見られました。

二つめは、時間とルールを守って行動することができた点です。集合の場面では学年委員が率先して学級に声を掛け、整然と話を聞こうする雰囲気を作ることができました。活動ごとに交わす挨拶も、学年の生徒たちの一体感が感じられる、元気で気持ちの良いものでした。この明るさと素直さ、そして元気な挨拶は1学年の宝です。大事にしていきたいと思います。

今後は、発表会に向けた事後学習や俳句の仕上げをする中で、更に学びを深めていってほしいと思います。



校外学習を終えて ～ 解団式 ～



5月8日(水)の5校時に解団式を行いました。
各学級の代表が全体の前で校外学習の感想を述べました。
代表生徒の感想発表を聞いて、共感しうなずいたり、視点の
鋭さに感心したりする様子が見られました。

今回の校外学習で、黒松小学校や他の小学校出身の人たちと絆を深めることができました。また、一人一人がしっかりと個性を出せていたのではないかと思います。自分はこの校外学習で、友達の大切さや協力することの大切さを学べたと思います。この経験を生かし、次の行動やこれからの生活をより良くしていきたいと感じました。また、実行委員の皆さん、支えてくださった先生方、本当にありがとうございました。

1組 F.N.

私は校外学習で、山形や山寺の歴史などたくさんのことを学びました。学んだこともたくさんありましたが、雨が降ったり、トラブルがあったりした中でも班、クラス、学年で協力してできたこと、きちんと挨拶できたこと、皆とたくさん話して仲良くなれたことがすごく良かったです。

これからたくさん行事があったり、行事以外にも協力したり関わったりすることがあるので、行事や行事 以外でも昨日できたことをこれからも続けていきたいです。また、校外学習を準備してくれた実行委員や先生方、1学年の仲間達に感謝したいです。ありがとうございました。

2組 S.A.

山寺の階段を一段一段登っていると、心が洗われていくような感覚になりました。次に陶芸体験を通して、教わる方々への礼儀や、自分で一からものを創る大変さを知りました。

この2つの経験から、僕は友達と同じ体験をする楽しさと大切さを学びました。僕は、この学びをクラスでも生かしていこうと思いました。

3組 U.K.

森の中は、静かで、緑の木の葉は風で揺れ、そのような中で見学をしていると、松尾芭蕉の「閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声」の俳句が実感として思い出されました。また、実際に凝灰岩を目の当たりにして、地質学が発展していなかった時代なのに、この俳句が吹き上がることがすごいと思いました。自然も陶芸も山形県の伝統の一部です。ずっと昔から引き継がれてきたもののため、自分たちの世代でもその歴史が失われることなく、山の自然や伝統などを傷つけず大切にしていきたいと思います。そして、松尾芭蕉の学びを通して、体験したことで作品を作り上げる姿勢を自分も見習って、作品作りに生かしていきたいです。

4組 I.K.

皆さん、山形の歴史に触れ、陶芸で思い思いの作品を作ることができたと思います。まだ知らなかった黒松小学校出身の友達、八乙女小学校出身の友達と仲良くなれたと思います。次の校外での活動でも1年生全員で協力していきましょう。

5組 M.K.

